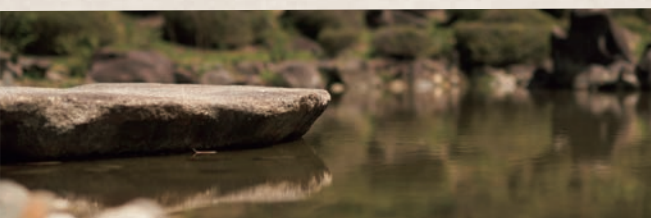




慶沢園は自然と歴史が調和した日本庭園です。1926年に住友家15代当主・住友吉左衛門友純(号・春翠)から本邸とともに大阪市へ寄贈されました。大きな池と大州(中島)を中心に、築山と四阿、茶室などが点在する林泉回遊式庭園です。四季折々の庭園散策をお楽しみください。



【住友吉左衛門友純(春翠)について】

春翠は、京都の名門・徳大寺家から住友家へ養子として迎えられ、家業発展に尽力する傍ら、社会事業にも深く関心を示しました。美術・建築・庭園にも深い造詣を持ち、関西を代表する近代の数寄者として知られています。

春翠は本邸を豊谷から移転した際「照代之恩恵、祖先之余沢」という意味から、「恵沢園」と命名し、1918年の完成時に「慶沢園」へ改名しました。



出典：住友春翠(国立国会図書館)(<https://dl.ndl.go.jp/pid/2975135/1/6>)

【慶沢園と植治の技法について】

慶沢園の作庭を手がけたのは、明治時代の造園家・七代目小川治兵衛(通称・植治)です。植治は、伝統的な庭園技術に西洋の要素を取り入れた新たな庭園スタイルを確立し、平安神宮神苑、円山公園、無鄰菴などを手がけました。慶沢園にもその革新的な発想と技術が息づいています。作庭にあたり、両名は金沢の兼六園をはじめ、他の大名庭園を視察したと考えられています。植治は他にも住友家の別邸庭園を数多く手がけ、近代の日本庭園に大きな足跡を残しました。



出典：小川治兵衛(国立国会図書館)(<https://dl.ndl.go.jp/pid/2983893/1/5>)



慶沢園

〒543-0063 大阪市天王寺区茶白山町1(天王寺公園内)

TEL:06-7494-3583(慶沢園管理事務所)

web site



開園時間

9時30分から17時(入園は16時30分まで)

※5月・9月の土・日・祝日は18時まで開園(入園は17時30分まで)

休園日

毎週月曜日(休日にあたる場合は翌平日)

年末年始(12月29日から1月1日)

※大阪市内に暴風警報が発令された場合は臨時閉園

長生庵のご利用とロケーション撮影に関するお問合せ

TEL:06-6761-1770(真田山公園事務所)

※休日：土・日・祝日・年末年始(12月29日から1月3日まで)

入園料金

大人 : 300円

大学生・高校生 : 200円(大学・高校に準ずるものの学生・生徒を含む)

※以下の方は入園料が無料になります(証明書の提示が必要です)

- ・中学生以下の方
- ・大阪市内在住の65歳以上の方
- ・身体障がい者手帳などお持ちの方

※大阪市立美術館特別展観覧者への入園料値引き一律100円引き

(慶沢園券売所にて、特別展観覧券を提示した場合に適用)
(団体割引との併用不可)

慶沢園・大阪市立美術館 共通入場券

大人 : 600円

大学生・高校生 : 300円(大学・高校に準ずるものの学生・生徒を含む)

慶沢園管理運営受託者：

日比谷アメニス・大阪造園土木・庭樹園特別共同企業体

慶沢園

KEITAKUEN
GARDEN

CRAFTING
HARMONY
WITH
NATURE.



KEITAKUEN GARDEN

慶沢園園内マップ



撮影スポットC
庭園の向こうのあへのハルカスを撮る
静寂と未来が出会う場所



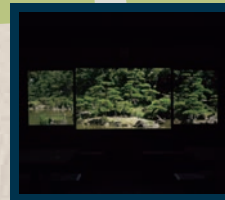
1 州浜(すはま)と船着石(ふなつきいし)

池のほとりに敷きつめたごろた石等が、穏やかな浜辺の風景を表現しています。水と陸とが自然に溶け合う美しい景色の中で、ゆったりとした時の流れを感じてみてください。



2 四阿
「喚魚亭(かんぎょてい)」

三方が開かれた開放的な造りの休憩所です。目の前には、慶沢園の見どころが一枚の絵画のように広がります。腰を下ろして、移り変わる庭園の表情をゆっくり堪能してみてください。



撮影スポットA
四阿から庭園を撮る
窓の向こうに広がる、三方の庭園パノラマ



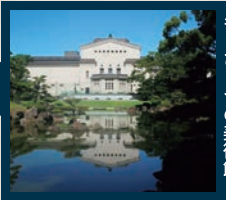
- の箇所は、車椅子で通行ができます。
- ▬ 階段となっています。
- 手すりが設置されています。

★芝生・植栽内への立入、食事・飲酒はご遠慮ください。
★所要時間の目安は20～40分程度となります



6 滝

一枚岩を流れ落ちる滝の周囲には、カエルや亀の姿に見立てた石が巧みに配置されています。水の音に耳を傾け、趣のある静かな空間をぜひお楽しみください。



撮影スポットB
池越しに美術館を撮る
水面に浮かぶ、もうひとつの美術館



5 舟形石
(ふながたいし)

池のほとりに据えられた舟形石と対岸の船着石は、船出の情景を表現したものです。かつての舟遊びを想像しながら、水辺の風景を眺めてみてください。



4 琴柱灯籠
(ことじょうろう)

琴の弦を支える「琴柱」に似た形が特徴の灯籠です。池辺に静かに佇み、水面に映る姿が風雅な景色をつくり出しています。



3 龍頭石
(りゅうずいし)

水辺に現れた龍の「頭」を巨大な石で表現しています。ツツジの植栽が胴体を形づくり、龍が池をめぐるようなダイナミックな景観を生み出しています。